

心をつなぐ



NO. 6 令和4年7月6日

期末試験お疲れ様！回せ！学びのPDCAサイクル！

先日、期末試験が終わりました。試験開始とともに、答案用紙に向き合う様子や、緊張感ある教室の雰囲気がんばりを感じました。これまでの学習の定着度合いをはかるための大切に試験でしたが、いかがでしたか。この期末試験を通して「何ができて、何ができなかったのか」をしっかりと確認し、「できなかったこと」を「できた！」と言えるまでやりきってほしいと思います。結果に一喜一憂するのではなく、自分自身の課題の把握をし、そしてそれらを克服できるまで取り組みましょう。「できないこと」をそのままにしておく、と、どんどん「わからない」が増し、結果として「もういやだ・・・」という心境に陥りやすくなります。「わかった」「できた」が学習の意欲や自分自身の自信になります。試験がおわりホッと一息ついたら、また次に向かって進んでいきましょう。



いきかたナビゲーション “いきナビ” を終えて

24日（金）にしまなみ交流館に株式会社ボーダレス・ジャパン 副社長の鈴木雅剛様をお招きして「いきかたナビゲーション “いきナビ”」を実施しました。「いきナビ」は、社会で自分らしく生き、さまざまな分野で活躍する方々の生き方にふれることを通して、自分の将来を考えるのに理想とするロールモデルに出会い、生徒が自立的に未来を切り拓いていく自己実現力の向上を目指すことを目的として実施しています。それぞれが思い描く「なりたい自分」の実現に向けて、鈴木さんのユーマ溢れる話

や実体験に基づく話から、さまざまなことを学び、感じる事ができたように思います。これからに生きる大切な考え方や言葉を、これからのそれぞれの人生に繋げていってほしいと思います。皆さんの人生の“点”となり、将来へと繋がることを期待しています。



生徒の振り返り

- 失敗しても、失敗するからうまくいくことがわかった。また、モヤモヤや達成感があると「じゃあ、どうする？」という考え方をすれば良いということがわかった。人や社会のために、自分ができるところを取り組んでいきたいです。
- 目の前にあることを深めていき、自分に自信がなくてもとりあえず、1回やってみれば自分に自信がついてくるかもしれないから、自信がなくても1回やってみるといことが大事ということがわかった。
- す～さん（鈴木さん）の話をきいて「ああ、人のために自分の力を最大限にまでだしてがんばるひとがいるんだな」と感じた。人の幸せを願い、周りの人を笑顔にできるような人でありたいと思った。
- 今日の話をきいて、失敗の意義を感じました。自分のためだけでなく、人のためにも動いて、もっと成長したいと思いました。す～さんが言っていた、好きなところから深めていく方法をもっと頑張っていきたいと思います。そして、違和感を大切に理想の社会と自分をつくっていきたくていきました。

熱中症対策を！

梅雨が明け、暑さが増し夏本番を迎えております。登下校や授業中の熱中症対策として「ネッククーラー」の使用を推奨しております。自分の体調をしっかりと管理し、熱中症を未然に防止しましょう。詳しくは、右の資料をご確認ください。

ネッククーラーの使用について

熱中症対策として7/22(金)まで、登下校と授業中に限りネッククーラーの使用を許可します。以下の点に気をつけて使用しましょう。

- ・華美でないもの(高須小出身の生徒は小学校時に購入したもの)→(イメージ図)
- ・電池式でないもの
- ・マジックテープ等がついているもの(ついていない場合は首元で巻けるもの)
- ・校舎内での使用は授業中のみ使用を認めます(登下校時の校舎内・移動教室中とはとる)

